

## 教 育 委 員 会 定 例 会 議 事 録

平成31年2月12日 午後2時00分 開議

## 出席委員

教 育 長	高 本 訓 久
委 員	戸 莉 恵理子
委 員	林 正 美
委 員	菅 沼 由貴子
委 員	渡 辺 時 行

## 説明のための出席者

教育部長	関 原 秀 一
教育部次長兼生涯学習課長	前 田 清 彦
教育部次長兼学校教育課長	今 泉 一 義
教育部次長兼中央図書館長	細 井 正 久
庶務課長	酒 井 保 吏
学校教育課主幹	小 林 和 弘
スポーツ課長	戸 莉 憲 司
学校給食課長	寺 部 優
中央図書館主幹	尾 崎 浩 司

## 教育長が指定した事務局職員

主 事	瀬 野 正 章
主 事	柴 田 訓 代

## 議事日程

- 第1 議事録署名委員の指名
- 第2 第2号議案 教職員の任用について（非公開）
- 第3 第3号議案 平成31年度教育委員会の予算概要及び主要事業について
- 第4 第4号議案 平成30年度3月補正予算について
- 第5 その他報告 豊川市立小中学校の規模に関する基本方針（案）に係る意見等募集結果の公表について
- 第6 その他報告 「第12回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」の受賞について

「高本教育長」 定刻になりましたので、ただ今から教育委員会を開会し、直ちに会議を開きます。始めに、日程第1「議事録署名委員の指名」を行います。本日の議事録署名委員は、教育長において、菅沼・渡辺委員を指名いたしますので、よろしくお願い致します。

「高本教育長」 続いて、日程第2、第2号議案「教職員の任用について」を議題といたします。なお、本案は教職員の人事に関する案件ですので、議事は非公開とし、会議内容の議事を別に記録するという事でよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認め、本案は非公開で行います。それでは事務局から説明をお願いします。

「今泉教育部次長」 第2号議案「教職員の任用について」を資料に基づき説明。

(以下、議事内容は職員の人件に関わるため非開示)

「高本教育長」 続きまして、日程第3、第3号議案「平成31年度教育委員会の予算概要及び主要事業について」を議題といたします。事務局からの説明をお願いいたします。

「関原教育部長」 それでは、平成31年度教育委員会の予算概要および主要事業について、資料に基づき説明させていただきます。6ページ歳入総括表をご覧ください。こちらは歳入予算について、平成30年度当初予算額、31年度予算見積額とその増減額、及び主な内容を課ごとにまとめたものです。31年度予算見積額について、金額欄の上段は財政課から示された内示額、下段は11月の定例会でご説明した要求額となっております。31年度につきましては、合計で10億7,818万9千円を要求し、10億6,041万7千円の内示を受けました。その左の欄の30年度の当初予算額11億8,413万円と比較しますと、1億2,371万3千円の減額となりました。要因としては、庶務課と生涯学習課の減額が大きいことによるものです。

まず、庶務課についてご説明申し上げます。平成31年度に実施するトイレ改修工事、小中学校管理諸室空調設備設置工事、遊具更新工事の財源の一部として、学校施設環境改善交付金を歳入を計上しておりますが、残りの普通教室の空調設備設置工事について今年度の12月補正で予算計上したため、その分を入れておりませんので、平成30年度の当初予算と比較しますと、8,508万5千円の減額となっております。次に生涯学習課についてご説明申し上げます。平成31年度に三河国分寺跡土地買上等事業を行うにあたり、その事業費を文化庁補助事業として国庫補助申請を行うため、それによる補助金歳入を計上しております。平成30年度の当初予算と比較しますと、合計として4,108万5千円の減額となっておりますが、用地買収をする物件の違いによるものです。なお、要求額と内示額を比較しますと、学校教育課、生涯学習課、中央図書館、スポーツ課がほぼ同額、庶務課が増額、学校給食課が減額で

ございます。大きな変更については右の欄、「平成31年度予算見積額の主たる内容」に記載してございます。学校給食課の学校給食費収入につきましては、保護者が負担している給食の賄材料費を給食費として徴収し歳入として受け入れるものでございますが、この減少の理由としましては、小中学校の始業式等の日程や天皇の即位日などの休日の決定に伴い、給食実施日数が当初見込みより減少したため、併せて給食費歳入を減額するものでございます。

次に歳出予算でございます。各課の30年度当初予算額と31年度の歳出予算見積額につきまして、項・目ごとにまとめさせていただいております。こちらも歳入と同じく、31年度予算見積額につきましては、上段が財政課から示されました内示額、下段は要求額となっております。31年度歳出予算といたしましては48億6,218万9千円を要求しましたところ、45億7,547万2千円の内示額となり、30年度の当初予算額に比べて7億9,803万4千円の減額となりました。各目ごとの増減の主な理由を備考欄に記載させていただきましたが、その中で、主な増減理由をご説明させていただきます。庶務課につきましては、2項小学校費、1目学校管理費において、普通教室空調設備設置工事による減が大きな要因となっております。このほか、3目学校建設費におきましては、新規に国府小学校や一宮南部小学校の校舎改修事業としてそれぞれ基本設計、調査測量委託、基本計画を実施いたしますが、庶務課の合計といたしまして8億6,285万5千円の減額となりました。続いて学校教育課につきましては、1項教育総務費、3目教育指導費の学級運営支援事業について、支援員を5名増員し74名とすることに伴う増額がございます。各学校からの配置要望が大変多いため、それに応ずるものでございます。学校教育課の合計といたしましては231万6千円の減額でございます。なお、ここには計上されていませんが人事課予算として、英語指導助手（AET）について2名増員し16名といたします。続きまして生涯学習課でございますが、2目文化財保護費におきまして、平成31年度は、三河国分寺跡保存整備事業としての発掘調査費の増額や旅籠大橋屋の供用開始に伴う管理運営費の増額がございますが、三河国分寺跡土地買上事業費が減額していることや旅籠大橋屋保存整備事業が完了しましたので、生涯学習課の合計といたしましては1億8,053万4千円の減額でございます。次に中央図書館でございますが、6目ジオスペース館費において、老朽化しているプラネタリウム機器の更新工事を実施いたします。中央図書館の全体の合計で1億8,647万4千円の増額でございます。続いてスポーツ課でございますが、2目体育施設費において、陸上競技場夜間照明塔設置工事や小坂井B&G海洋センターの改修工事などの体育施設営繕費の増額や市プール解体撤去工事実施設計委託などにより、合計で9,831万6千円の増額でございます。最後に学校給食課でございます。学校給食センターの長寿命化事業として行う真空冷却機のオーバーホールの修繕や食缶前処理器・食缶洗浄機の更新などを実施いたしますが、前年度までにボイラー蒸気管の改修が完了していることから、学校給食課合計といたしまして3,711万9千円の減額でございます。以上、教育委員会全体といたしまして、平成30年度当初予算額と比較し、7億9,803万4千

円減額しております。11ページから12ページについては、重点事業の状況をまとめております。事業内容につきましては11月に説明させていただいておりますので、今回の説明は省略させていただきますが、結果といたしまして、重点事業では、若干の見直し等はございましたが、10事業全てについて予算を確保しております。各事業の予算額増減理由の主なものにつきましては、予算要求額の横にお示ししておりますので、ご覧いただくということで説明は省略いたします。以上で平成31年度の予算概要説明を終わります。

13ページから50ページは参考資料として、平成31年度の主要事業につきまして、シート形式でまとめておりますが、これより各課長から主な事業について抜粋してご説明いたしますので、よろしくお願いたします。

「高本教育長」 ありがとうございます。続いて各課から願いたします。

「酒井庶務課長」 説明がありましたように、14ページから17ページにつきましては、平成29年3月に作成をいたしました第2期豊川市教育振興基本計画に掲げます4つの基本目標ごとに各課が進めている主要な施策を掲載したものでございます。続く18ページ以降につきましては、各担当課より基本目標ごとに平成31年度の主な事業を抜粋し、ご説明をさせていただきます。

以下、各課長が平成31年度の教育委員会主要施策について、豊川市教育振興基本計画に掲げられた4つの基本目標に沿って説明。

### **基本目標1 豊かな心と健やかな体を育む教育を実現します**

主要事業（抜粋）

学校教育課・・・心理教育相談事業

生涯学習課・・・三河国分尼寺跡保存整備事業

大橋屋管理運営事業

### **基本目標2 社会の変化に応える確かな学力を育成します**

主要事業（抜粋）

学校教育課・・・ICT教育支援員配置事業

学級運営支援事業

### **基本目標3 豊かな人生を自らが築く生涯学習社会を確立します**

主要事業（抜粋）

生涯学習課・・・地域生涯学習事業

スポーツ課・・・ウォーキング教室開催事業

スポーツ合宿支援事業

中央図書館・・・プラネタリウム機器更新事業

電子書籍サービス

#### 基本目標 4 魅力ある教育環境づくりを進めます

主要事業（抜粋）

庶務課・・・・・・・・小坂井東小学校校舎改修事業

小中学校空調設備整備事業

小中学校環境改善対策事業

学校 I C T 環境推進事業

学校教育課・・・・部活動総合支援事業

生涯学習課・・・・放課後子ども教室事業

スポーツ課・・・・市内体育施設整備事業

豊川公園街なか賑わい創出基盤整備事業

学校給食課・・・・学校給食センター長寿命化事業

「高本教育長」 多くの資料がありますが、まず部長から平成 31 年度の教育委員会全体に関わる歳入、歳出と各課ごとの重点事業について説明をいただきました。その後、各課がポイントを絞って説明をしていただきました。まず、教育委員会全体あるいは各課の事業概要や予算内示等について、何かご質疑等がございますか。

「菅沼委員」 トイレの改修事業ですが、補足事項等の欄に平成 30 年工事実施予定として国府小・桜町小・豊小・長沢小・御津北部小とありますが、国府小もすべて終わっているのでしょうか。

「関原教育部長」 国府小の今後の大規模改修工事については財政当局と詰めておりますので、国府小で今回実施したのは多目的トイレだけです。他の普通のトイレは手付かずですが、大規模改修を数年後に行う際に一斉に実施いたします。

「菅沼委員」 実は、3 学期の学校の日国府小へ行った時に、まだトイレの改修がされていなくて、校長先生が校舎改修の際に実施すると言っていたのですが、工事実施予定として載っていたのでお聞きしました。

「高本教育長」 他にございますか。

「林委員」 優先順位が高い事業でも、予算を削られている個所がいくつかあります。優先順位が高いということは、それだけ力を入れて計画を立てたと思うのですが、実際削られて困るという事はないのでしょうか。

「関原教育部長」 1 番の学級運営支援事業については、勤務時間が減らされたのではなく、単に実績に合わせて日数が減っているだけです。拡充はされています。2 番の小中学校トイレ改修事業については、一宮南部小を見送ったため、その分が削られているだけで問題はありません。その他は微修正で、夜間照明塔なども削られていますが、財政当局との調整の中でお互い納得しております。

「林委員」 分かりました。困らなければ結構です。

「高本教育長」 その確認ができたという事でよろしいですね。それでは、13 ページ以降、各課の主要事業のシートも含めて、更にご質疑等ございましたらお願いい

たします。

「戸荻委員」 28ページの外国人児童生徒教育推進事業についてですが、1月の終わりに開催された東三河の教育委員代表者会議でも少し話題になり、予算が変わらないという話を聞いたのですが、これからも外国人の児童生徒は増えていき、更に新しい言語を話す子が増えていく中で3年間助手が増えていないのですが、ここは増やしていかなければいけない事業だと思います。予算を増やしていただく方向で考えて欲しいと思っています。

「高本教育長」 31年度については、ここにありますように30年度と人数は変わらないのですが、今後に向けては必要ではないかとのご意見でした。事務局の今後の考えはありますか。

「今泉教育部次長」 戸荻委員が言われたように、増員を可能な限り要望していかなければならない状況だと思います。市内の外国人の児童生徒数が増えているのも現実です。全ての言語に対応していく事が困難になってきているのですが、例えばアプリを活用する方法もあります。今までは自分が話したことが相手にどう伝わったのか確認が出来ないので、間違っただけでも分からなかったのですが、アプリを使用することで、まず日本語がその国の言語に翻訳され、再度その国の言語が日本語に訳されるので違いを修正しながら伝えることが出来ます。庶務課が進めているWi-Fiネットワークが整備されれば、教室の中でアプリを使用することが可能となります。もちろん初期指導は必要ですし、人員を増やす要望もしていきませんが、いろいろな面での可能性を考えていきたいと思っています。

「高本教育長」 もう一つ、今の戸荻委員のご意見に絡めば、日本語がまだ十分でない子どもを対象とする「子ぎつね教室」で初歩的な日本語を指導していただいているのですが、そちらの充実も合わせてしていただく必要があると思います。そこそこ出来るからとすぐ学校に送ってこられると、かなり大変な状況になりますので、ある程度の期間を設けるとか、指導していただく方の人数を増やすのも中々難しいかもしれませんが、今後はそちらとも連携を図っていただく必要が出てくるように思います。他にご意見などはございますか。

「林委員」 全体に目を通して見た時に、事業内容の書き方が各課バラバラです。もう少し見直した方が良いのではないかと思います。せめて事業の目的を書いていただいて、その目的を達成するための手立てを書いていただくと非常に分かりやすいです。例えばシート1の人権について、なぜこんなに難しい事を書くのでしょうか。これは継続事業ですので前からずっと同じだと思うのですが、見直して欲しいと思います。シート4の「児童生徒文化事業」には、手立てが書いてありません。つまり「文化活動の発表の場を設ける事によって」という手立てがないので、非常に分かりにくいです。それからシート5の「マイブックプロジェクト」、ここに書かれているのは期待感です。一番大事な、なぜ中学2年生なのかという事が書かれていません。シート9の「史跡公園活用事業」も同じです。開催する事によって、市民が豊川の歴史や文化に触れる事を期待するという、その目的が書かれていません。このように書き方にかな

りバラつきがあります。特に継続事業にその傾向があります。是非それを見直していただけると読み手としては分かりやすくなると思います。新規事業は、非常に分かりやすく書かれていると思います。

「高本教育長」 ありがとうございます。本日の会議の参考資料としてまとめていただいたと思いますが、より分かりやすい事業内容の説明となるよう目的とその目的を達成するための手立て、そのためにどれだけの予算が付いているかが分かるような資料をとということで林委員からご指摘をいただきました。資料をまとめるのも時間が限られているとは思いますが、特に継続事業で多いというお言葉もありましたので、来年度、参考資料として出していただく時には今言われたことも汲んでお示しをいただければと思います。他に質問等がありますか。

「菅沼委員」 シート12「大橋屋管理運営事業」の予算額について、ここには平成31年4月24日開館の式典とありますが、開館以降は大橋屋に臨時職員が配置されるとお聞きしたのですが、その分の金額は含まれているのでしょうか。

「前田教育部次長」 平成31年度418万9千円ということで、こちらには4月の下旬にオープンする前の準備段階に掛かる費用と開館以降のパートの賃金を含めた年間通しての経費両方が含まれております。要求額に対して、備品など準備段階では不要として若干削られた部分がありますが、年間通じて常時パート1名の予算が付いています。

「林委員」 一つよろしいでしょうか。シート53「校舎外壁等改修事業」について、非常に大事な事業だと思うのですが、毎年1校、2校のレベルで大丈夫なのでしょうか。

「高本教育長」 劣化状況に十分な対応が出来るかというご質問ですね。

「林委員」 この先を考えた時に、一気にやるという事は出来ないのでしょうか。

「酒井庶務課長」 なかなか一気に出来ないという事はありますが、劣化の調査等は実施しております。その中で劣化度の高い所から優先的に進めているような状況です。ご理解ください。

「関原教育部長」 説明を加えますと、大規模改修工事を実施する学校は外壁もセットで行います。外壁だけ先にやってしまうと、大規模改修で補助をもらえないという事もありますので、その辺の組み合わせも兼ねて考えています。来年度は設計のみです。ペースを上げるためにも、来年、長寿命化計画を作るのですが、向こう10年、15年、20年、30年とやって行くためにはこれぐらいの事業量が必要であるという事を財政当局にも示さなければいけない課題だと思っています。

「高本教育長」 状況によっては、毎年1校、2校ではなくて、時には3校、4校になる時もあるということですね。今、部長の説明にありましたように、全体を見た中での長期的な計画が当然必要ですし、実際に行っているところだと思います。

「林委員」 もう一つ、シート47「開かれた学校づくり推進事業」について、3学期の学校の日は毎年そうですが、今年は特にインフルエンザと風邪が大流行していて、

私が行った学校では子どもたちが全員マスクをして、先生もマスクをしていました。それから保護者の方もマスクをするように指示があり、みんなマスクをしていました。更に教室内に菌が充満するといけないということで、窓は全開でした。果たして、そういう状況の中でやる必要があるのでしょうか。更に中学は3年生がいないくて、1、2年生だけです。そういう事を考えた時に、もう少し3学期の学校の日は柔軟に対応しても良いのではないかと、学校判断でやめてもいいのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

「今泉教育部次長」 この件については、校長会や、それから以前にも委員の方からお話をいただいております。2月の校長会で、多忙化解消に向けた行事改善としてすぐに取り掛かれることについては、来年一年掛けて調整しながら実施していくという案を教育委員会にいただきました。それを基に、どのような形にしていくのが一番良いのかを、指導主事が学校を回って状況を確認しております。それも含めて来年度中に対応していきたいと思っております。

「高本教育長」 これも、その年の状況によると思います。杓子定規で決めると動き辛いところがあるので、柔軟な対応が出来る体制も必要かもしれませんね。

「渡辺委員」 ICTの件で2点よろしいですか。まずシート20「ICT教育支援員配置事業」について、ICT教育支援員というのは、どういう資格を持った方が担当されるのか教えていただきたい。

「今泉教育部次長」 まだ正式ではありませんが、想定しているのはパソコン能力に堪能で、教員経験がある、つまり子どもにも教職員にも指導できるような方を考えております。

「渡辺委員」 現役の教師という意味ではないですか。

「今泉教育部次長」 現役の教師は、学校の勤務がありますので、それ以外の方で考えております。

「渡辺委員」 それからシート57「学校ICT環境推進事業」のパソコンの予算についてですが、別の資料を見て、豊川市のパソコンの整備状況が非常に悪いということに驚いています。予算の関係もあると思いますが、文科省から目標を示されているので、1、2セットを来年、再来年というのではなく、もっと早く、もっと沢山にならないかと思うのですが、今後どのような計画を立てているのかを教えてください。

「酒井庶務課長」 まずは31年度から32年度に掛けて、タブレット端末を試験的に導入していきます。今までの整備は、あくまでコンピュータ教室という特定の場所で使用するものでしたが、今後は普通教室や野外での使用も想定するの中で、いかに機器を利用しながら情報活用を進めていくかを考えていく必要があります。どのような活用の仕方があるのかを中心に進めていながら、実証実験を踏まえて、3年後以降の整備計画を検討していく状況ですので、何年後に全校に整備するというところまでは今のところは言えませんが、調査研究を進めながら、方向性を考えていきたいと思っております。

「渡辺委員」 他県の状況を見ますと、人数が少ないと楽に整備出来るということも

あると思いますが、それなりの規模の都市でももっと早く整備している所が実際にあります。そういった情報なども聞いて、メリットやデメリットなどの判断はされているのでしょうか。

「酒井庶務課長」 今年度も、整備を進める庶務課と活用方法を考える学校教育課の職員とで、先進事例の調査研究を行っています。特に今後はプログラミング教育も本格化してきますが、まだその辺りについては全国的にも手探りの状況でもありますので、先進事例なども参考にしながら、どのような形で導入して行くかを調査研究をして今後の正式な導入に備えていきたいと思っています。

「高本教育長」 渡辺委員としては、豊川の子どもたちがICTの部分で他の市町より遅れを取らないように十分配慮して欲しいという思いを込めてのご質問だったと思いますので、その辺りを汲んで今後の整備を進めていただければと思います。

「林委員」 36ページの「スポーツ合宿支援事業」について聞きたいのですが、これは新規事業ですね。この対象は豊川市内の団体に限るのでしょうか。

「戸蒔スポーツ課長」 対象は市外の団体が市内の施設に泊まった時に、宿泊費の一部を補助するものです。公共施設を使っただけであれば施設の有効活用に繋がります。外から呼び込む事業になりますが、土日で市民が使っている体育施設を圧迫してまでこの事業をやろうという趣旨ではありません。あくまでも空きスペースを有効活用していただくというものです。また、市民との交流を通じてレベルアップが図れるというメリットもあると思います。

「林委員」 予算がかなり付いていますが、内訳はどのようになっていますか。

「戸蒔スポーツ課長」 予算額500万円の内、400万円が合宿関係専用のホームページを作ったり、チラシを配布したりする委託料になります。残りの100万円が、1泊あたり1人1,000円の補助をする事業費となります。

「高本教育長」 情報発信にかなり予算を使いますね。

「林委員」 どのような場所で合宿をするのですか。

「戸蒔スポーツ課長」 市内体育施設の利用状況などを調べたのですが、陸上競技場や御津の体育館の利用が多いです。御津の体育館は、蒲郡市の宿泊施設に泊まって公共施設を利用する市外の方が多いようです。豊川の陸上競技場は、施設予約システムとは連動していないので、市外の方でも比較的予約が取りやすい陸上競技専門の施設ですので、例えば大学の駅伝部が練習に来たり、春休みや夏休みに名古屋の高校の陸上部が使っただけです。

「林委員」 非常に面白いですが、市内の人は、補助は受けられないのですか。

「戸蒔スポーツ課長」 この事業の名称からすると合宿だけのように読めるのですが、広い意味で、例えば市内のサッカーチームが大会を開催する際に、10チームのうち1、2チームが市外から来た場合は、合宿補助は市外のチームですが、サッカーイベント大会自体は収入があるのでメリットはあります。市内の団体には直接的な補助はありませんが、レベルの高いチームやいろいろな人を呼ぶことも出来るので、メリットにもなると思います。

「高本教育長」 より多くの人やスポーツ団体に活用していただければ、豊川のチームにとっても効果があるという狙いも含まれる事業とのことでした。いろいろご質問等があるかと思いますが、まだこの後の議案もございますので、ここだけはもう少しという所がございますでしょうか。最後に私からよろしいですか。シート15の今年開園した海軍工廠平和公園の活用についてですが、先日、戸荻委員とお話していた時に、名古屋大学の土地にあった施設等も取り壊されてしまうことが残念だという話をしていました。先ほどのICTの話聞いてふと思ったのは、記録保存は当然すると思うのですが、今、バーチャルの世界でいろいろな事が出来るので、取り壊されてしまう施設も実物としては残らないけれども、映像などの記録として残してバーチャル活用していくという方策は出来ないものかと思いました。31年度予算には間に合いませんが、何もなくなって書物や写真としてだけ残るとするのは、もったいないというか残念な気もします。今からでは手遅れかもしれませんが、そんなことも一案として、平和公園の今後の活用を先ほどのICTに絡めて思いましたので、私の思いを言わせていただきました。

「前田教育部次長」 今お話があったように、実はもう一部建物の取り壊しが行われています。取り壊しの前に、保存を進める会からもビデオが撮りたいという話があったり、市のドローンを飛ばして写真を撮ったりしました。それ以外にも、取り壊しの際に施設に使われていたレンガに刻印が見つかったりするので、サンプルとして取っておくなど、取り壊さないと分からないような部分を確認させていただいております。ご意見があったように、今後バーチャルという形で活用できないかという事ですが、これまでの様々なデータをまた違う形で活かしていくことが私たちの役目であると思っておりますので、出来る限りの事はしていきたいと思っています。

「高本教育長」 まだ関心がある個所があるかと思いますが、先を急ぐようで申し訳ありませんが、ご質問等は以上にさせていただいて、採決に移りたいと思います。本案につきましては、今ご説明の原案のとおり可決するという事で、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認めます。日程第3、第3号議案「平成31年度教育委員会の予算概要及び主要事業について」は、原案のとおり可決いたしました。

「高本教育長」 引き続きまして、日程第4、第4号議案「平成30年度3月補正予算について」を議題といたします。それでは事務局からの説明をお願いします。

「酒井庶務課長」 第4号議案「平成30年度3月補正予算について」説明いたします。3月定例会市議会に上程する補正予算につきまして、始めに歳入予算ですが、①の小学校費補助金1,158万9千円、②の中学校費補助金253万3千円の補正を計上しています。いずれも「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」に対する予算額です。12月補正の時点では、この交付金に対する内示がまだでしたが、空調器機未整備校について、来年度の夏稼働実現のためには早期発注が必要であったため、先

行して12月補正に計上していたものです。その後、正式な内示を受け、空調整備については普通教室の設置は採択されたものの、管理諸室の設置は未採択となりましたので、その部分については減額となっています。また、ブロック塀等の改修につきましては補助採択されたため、その分については増額するものです。次に歳出予算です。まず③ですが、教育振興基金積立金に対する補正額が400万円となっています。こちらはふるさと応援寄附金のうち、教育施策への活用希望のあった寄附金等を、教育振興基金へ積立し、今後の事業資金とするものです。④は小学校費のブロック塀等改修事業費として3,736万円の補正です。これは、桜木小学校始め7校の老朽化したプール外周の万年塀を撤去し、フェンスに改修する工事を行うものです。⑤は中部小学校校舎外壁等改修工事費で、1,035万8千円の減額補正です。これは契約金額が確定し決算見込額が判明しましたので、予算額との決算見込額との差額を減額するものです。次に⑥は小坂井東小学校校舎改修事業費で、7,944万円の減額補正です。2ヵ年事業となりますが、今年度分の支払予定額がほぼ確定してきたため減額し、翌年度に繰り越すものです。⑦は中学校費のブロック塀等改修事業費で304万円の補正額です。これは、代田中学校の老朽化した万年塀を撤去しフェンスに改修する工事を行うものです。⑧は南部中学校校舎外壁等改修工事費で、987万2千円の減額補正です。こちらも契約金額が確定し決算見込額が判明しましたので、予算額との決算見込額との差額を減額するものです。なお、53ページの下の表は繰越明許費で、小中学校のブロック塀等改修事業費のうち、次年度への繰越限度額を定めたものです。以上で第4号議案の説明を終わります。

「高本教育長」 庶務課長から細かな説明をいただきました。ただ今の説明についてご質疑がありましたらお願いします。

「渡辺委員」 ⑥の小坂井東小学校の校舎改修について、決算額が確定して7,944万円の減額になったということですが、この減額分が来年度に持ち越されるということでしょうか。

「酒井庶務課長」 2ヵ年事業ですので、今後の工事の進捗状況によっては変更契約なども発生する可能性もございますが、今年度減額したものは、全額翌年度へ繰り越しさせていただくものです。

「高本教育長」 他にはよろしいでしょうか。特になければ採決を行いたいと思います。本案は、ただ今の原案のとおり可決するというご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認めます。日程第4、第4号議案「平成30年度3月補正予算について」は原案のとおり可決いたしました。

「高本教育長」 次に、日程第5、その他報告「豊川市立小中学校の規模に関する基本方針(案)に係る意見等募集結果の公表について」を議題といたします。パブコメにかけたその後の状況かと思えます。それでは事務局からの説明をお願いします。

**「酒井庶務課長」** 学校規模に関する方針案につきましては、たびたび教育委員会定例会でも報告させていただいておりますが、12月26日から1か月間、広く市民からご意見をいただくということでパブリックコメントを実施しました。その結果の報告でございます。市内在住の1名の方から、3件のご意見を電子メールでいただきました。その内容については、56ページに書いてございます。まず1点目については、表紙と裏表紙に策定の作成年月が未記入とのご指摘でした。こちらはまだ策定前の案の状態ですので、正式に策定した段階で年月を記載をしていくこととなります。策定期間については、平成31年3月を予定しております。2点目は、基本方針の中にたびたび元号の表記が出てくるのですが、来年度には元号が変わることは判明しているため、西暦のみにするべきであるとのご意見をいただきました。こちらについては、策定時点の現在の元号のままとさせていただきます。元号が確定された後には、見やすいように新しい元号に修正させていただく予定です。それから3点目は、内容を要約しますと、基本方針の策定にあたり、国が定めている1学級あたり40人という基準を前提に考えるのはいかがなものかというご意見でした。「ふさわしい人数であるか」「どれくらいの人数が理想なのか」ということを海外の例なども引き合いに出されて、国の基準を鵜呑みにした計画ではなく1学級あたりの人数を減らしていくなどの構想を持てば、また見方が変わってくるのではないかとのご意見でした。この方にとっての教育に対する理想を述べられており、ごもっともなご意見であると思っておりますが、本市としましては、この基本方針では、学校規模に関する課題解決に向けた対応方針について、現行制度の中でも様々な課題があることから、具体的な現状を捉えながら分かりやすくお示しするため、国や県が示す現行の学級編制の標準を前提として策定にしたいと考えています。ご意見としては、この1名の方から3件でした。意見に対する市の対応としましては、今回のご意見を反映した修正はしない方向で考えております。なお、最終案を作成するにあたり内容の精査をしていく中で、表現を統一するなどの軽微な変更について補足資料で見え出し修正でお示しさせていただきますので、参考にご覧いただければと思います。それからもう一点、豊川市の未来を拓く教育推進懇談会については、現代的な課題を取り扱うということで単年度でなく継続的に実施していきたいということは以前にも説明させていただいておりますが、来年度のテーマについての案としまして、引き続きとなりますが、「市立小中学校の規模に関する課題解決に向けて」の検討としております。議題は状況によって2つの場合を想定しておりますが、平成31年3月31日末現在でそれぞれの校区ごとの人口を出し、今後6年間の見通しを報告いたします。この見通しによって、複式編制が見込まれる学校の発生が予測される場合は、基本方針に沿った対応について検討を行います。また、複式編制が見込まれる学校の発生が予測されない場合は、将来的な複式編制の回避に向けた具体的な取組に関する調査・研究を行います。来年は3回程度を予定しております。

**「高本教育長」** パブリックコメントによりご意見をいただいたということですが、先に2点ほど確認させてください。1点目は、お一人の方にご意見をいただいたとい

うことですが、この方のご意見に対する対応はどのような形になるのでしょうか。

「酒井庶務課長」 個別に対応するのではなく、ホームページ上で公表する形を取らせていただきます。

「高本教育長」 いただいたご意見の内容と、それに対する考え方が示されるわけですね。もう1点は、来年度の懇談会の委員構成案についてです。連区長会やP T A、小中学校長会は人が替わる可能性があります、学識経験者の方はお残りいただけそうでしょうか。

「酒井庶務課長」 今年度と同様のテーマに沿った形になりますので、既に今年度の委員の皆様には打診をさせていただき、来年度も引き続きご協力いただけるというご内諾をいただいております。

「高本教育長」 今年を受けての来年度のテーマですので、全く委員が変わってしまうと状況が変わる事も心配されるのでお聞きしました。何かご質疑がありましたらお願いします。ご意見としていただいた事はありがたいですが、手続きや表記の仕方、あるいは学級人数についても確かにこの方の思いは分かりますが、1学級を20人にするという基本方針が全く変わってしまいますので、ご意見としては何うけれども、中々そのようには出来ないということです。よろしいでしょうか。特にご質問、ご意見等がなければ、日程第5、その他報告「豊川市立小中学校の規模に関する基本方針（案）に係る意見等募集結果の公表について」の報告は以上とさせていただきます。

「高本教育長」 それでは本日の最後になります、日程第6、その他報告「『第12回キャリア教育優良教育委員会、学級及びP T A団体等文部科学大臣表彰』の受賞について」を議題といたします。事務局からの説明をお願いします。

「今泉教育部次長」 「第12回キャリア教育優良教育委員会、学級及びP T A団体等文部科学大臣表彰」の受賞について説明します。実は1月の定例会の日が授賞式で、事前に内々の連絡はあったのですが、どのような内容の表彰になるのか不明でしたので、事後の報告となりまして申し訳ありません。推薦理由としては、「豊川市教育委員会は、子ども達が将来自立した社会人となるための基盤をつくるため、社会への関心を高めたり、社会と自分の関わりについて学んだりする機会を設ける事が重要であると考えキャリア教育を推進している」ということです。昨年度、県から指定を受け、代田中と豊川工業高校、それに桜町小、代田小を巻き込んだものづくりの実践と、御津中と御津高校、そこに御津北部小、御津南部小を巻き込んだ国際理解の実践として、連携して一年間研究を行いました。元々は校長先生同士が「学校が近いので何かやりましょう」とスタートしたようですが、伝統的にやっていた事を、キャリア教育として小学校にも広げていくという試みで、代田校区と御津校区を中心に実施した結果、成果が認められ今回の表彰に至ったという経緯になっております。

「高本教育長」 愛知県では3つ、岩倉北小学校と新城千郷中学校、教育委員会は豊川市教育委員会が全国表彰を受賞したということでした。特にご質問等はよろしいでしょうか。以上で、日程第6、その他報告「『第12回キャリア教育優良教育委員会、

学級及びP T A団体等文部科学大臣表彰』の受賞については終了とさせていただきます。

「高本教育長」 本日の会議に付議されました案件は以上ですので、これで本委員会は閉会といたします。

(午後 3 時 4 8 分 閉会)